

1 川崎市商業振興ビジョン

(1) 概要

平成13(2001)年度に策定した「地域商業振興ビジョン」を社会経済環境の変化や商業を取り巻く環境が大きく変化する状況を踏まえ、市内商業の一層の振興と新実行計画の着実な推進を図るため、**平成20(2008)年度に「川崎市商業振興ビジョン」を策定**（計画期間：平成21(2009)年度から概ね10年間）

(2) ビジョンの取組経過

- ①地域資源の活用や課題解決等を目的に複数年専門家を商店街に派遣し、商業エリアの活性化を支援
(平成20(2008)年度-令和2(2020)年度支援累計19件)
 - ②商店街保有施設の老朽化や安全・安心の確保等に対応するため、街路灯のLED化等を支援
(LED化率80%、平成21(2009)年度-令和2(2020)年度支援件数累計93件)
 - ③魅力あふれる個店創出に向け、意欲ある事業者等による新商品開発、情報発信、街バル・まちゼミ開催を支援
(平成21(2009)年度-令和2(2020)年度支援累計23件)
- ※本ビジョンの総括については、令和3年度末までに実施し、ホームページ上に公表する。

(3) 計画終了の理由

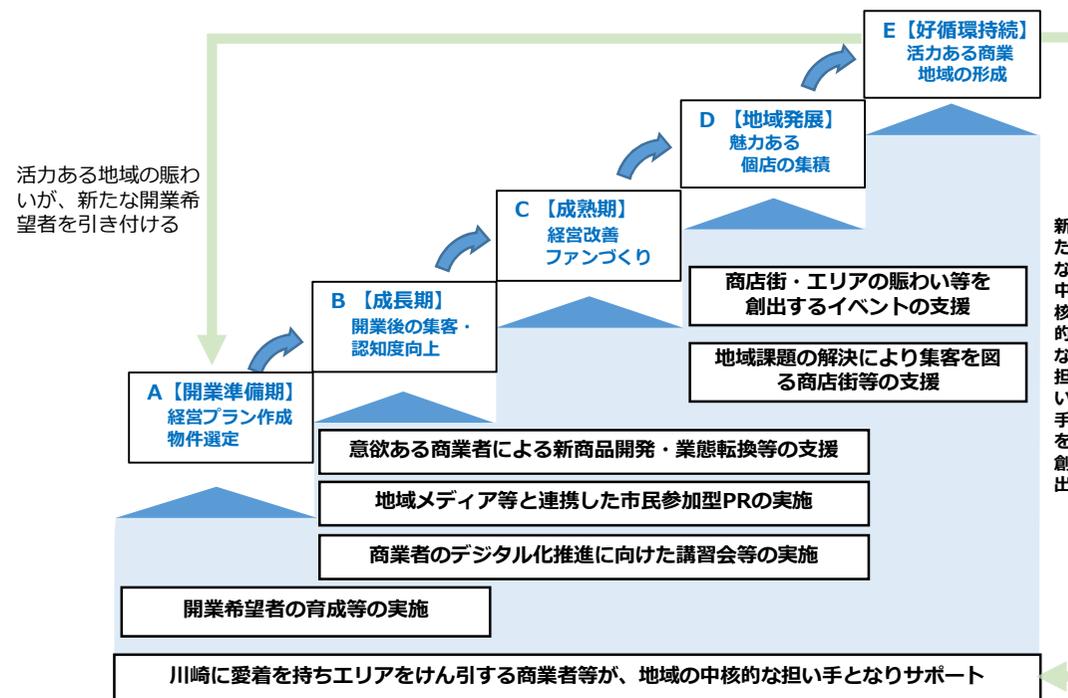
商業振興ビジョンは、具体的な事務事業や成果指標の設定はなく、計画期間における施策の方向性を掲げ商業振興に取り組んできた。今後は、総合計画及び産業振興プランに、商業振興の方向性を包含し、商業施策に関する指標を新たに追加のうえ、施策の評価及び進行管理を行うことで、効率的・効果的に施策の推進を図ることとする。

(4) 今後の施策の方向性

- ①川崎に愛着を持ちエリアをけん引する事業者が、**多様な主体を巻き込み、自主的・自立的に再活性化を図るしくみを構築**する。
- ②事業者のデジタル化など、社会経済環境の変化を踏まえた地域課題への対応や、魅力ある個店の集積により、活力ある商業地域を形成する。

今後の商業振興施策のイメージ

成長過程	A 開業準備期	B 成長期	C 成熟期	D 地域発展	E 好循環持続
支援対象	開業希望者	新規開業者・既存事業者		商店街等	



計画を終了する産業振興施策に関連する分野別計画について

2 ウェルフェアイノベーション推進計画

(1) 概要

ウェルフェアイノベーションの推進を図るため、「産業と福祉の融合で新たな活力と社会的価値を創造するイノベーション」を基本目標として、「**第2期ウェルフェアイノベーション推進計画**」を策定し、総合計画の分野別計画に位置付け

● 計画期間

① 第1期

平成26(2014)年度から平成28(2016)年度の3年間

② 第2期

「基本目標・視点・方針」は平成29(2017)年度から概ね10年
「行動計画・取組」は平成29(2017)年度から令和3(2021)年度の5年間

(2) 計画の取組経過

第2期ウェルフェアイノベーション推進計画は、新たな福祉製品・サービスの「創出」、「活用」等のプロジェクト稼働件数を成果指標としており、平成29(2017)年度から令和元年度までの行動計画について中間評価を実施した結果、目標達成に向けて進捗している。(令和2(2020)年11月公表)

※本計画の総括については、令和3(2021)年度末までに実施し、ホームページ上に公表する。

(3) 計画終了の理由

令和3(2021)年8月の「**Kawasaki Welfare Technology Lab**」(ウェルテック)の開設を契機として、市内企業の福祉産業への参入促進や市内中小企業等の優れた福祉製品等の開発・改良支援に取り組んでいる。このウェルテックでの取組を中心に次期の総合計画及び産業振興プランにおける新たな成果指標とすることで、福祉産業振興への寄与を明確に示すことができるとともに、効果的・効率的な成果創出に繋がると見込めるため、適切な進捗管理を行い、関係局と連携して、**ウェルフェアイノベーションの推進を図ることとする。**

【参考：総合計画及び産業振興プランに設定した成果指標】
 (第3期計画期間における目標値)

- ①福祉製品等開発・改良プロジェクト累計件数：16件以上
- ②福祉製品・サービスの市場化累計件数：8件以上

(4) 今後の施策の方向性

- ①「**Kawasaki Welfare Technology Lab**」(ウェルテック)を核として、市内中小企業等を支援し、優れた福祉製品・サービスの創出を図る。
- ②「かわさき基準(KIS)」について、対象を市内企業中心とするとともに、ウェルテックでの検証・評価を通じて付加価値を高め、市内福祉産業振興の強化を図る。

ウェルテックを核とした福祉産業振興の推進イメージ

